

ALL eco life
わたし×エコのある暮らし

— もったいない精神があったから —
— タンスの肥しを必要な人へ —
— 服のリユースでエコな衣生活を —

最近では、常に新しいものが出てきて、トレンドの変化が速い時代だから、多くの人は安いものを買って短期間で消費することが当たり前になっています。親に教えられた「もったいない精神」のおかげで、短期間だけ使って捨てることに疑問を持つようになりました。スモカモス・プロジェクト



ウッディタウン地区
宇田 創さん

トに参加し、環境について何か活動できないかと思っていた時、別のメンバーから服のリユースに携わる人を紹介してもらい、服の譲渡会を開催することに。知り合いや市内事業者から不要な衣服を回収し、必要とする人に無償提供しました。今はファストファッション店などで回収箱が設置されるなど、不要な服は「捨てる」「一択」だけでなく、捨てる前に別の使い道がないか考えることも環境問題への取り組みだと思えます。

YOUNG community
若者 × 地域活動

— 学生×地域 —
— 子どものころから SDGs を —
— 自分で今日からできることはなに？ —



▲弥生小で行った授業の様子



ホップス Hoppas
岩佐 麻椰さん
関西学院大学2年生

弥生小学校で週に一度、自作の「SDGsすごろく」を使い、授業に参加しています。小学生と一緒に「三田の好きなところ」や「食品ロスを増やさない方法」などを考えています。「子どもにもSDGsを知ってほしい」と思い大学の仲間とチームを結成。小学校に活動への想いを直訴し、実現しました。子どもたちには将来の選択肢を増やすため、社会の出来事を自分ごとと感じ、「なんで？」と疑問を持っている人になってほしい——でも、

実際は小学生から学ぶことばかり。教室で聞こえてきた「ランドセルは誰が何色を使ってもいいんだよ」という言葉に、SDGsの考えを自分のものにして友だちに伝えてほしいと驚きました。SDGsは社会全体で取り組むもの。個人の活動だけでなく、周りにも広がっていくことが大切です。今後は「SDGsすごろく」を公開し、多くの人に活用してもらいたい。誰かの学びのきっかけや気づきになれるよう、これからも仲間と企画を練りたいです。



学生の活動を見守る大人
山下 祐佳さん
(弥生小学校教諭)

子どもたちの視野が広がる契機に

弥生小がSDGsに力を入れていることを調べ、ぜひ一緒に活動したいと言ってくれました。学生は「こうしたら？」ではなく、一問一答で「どうなるかな」と子どもの発言を促し、通常の授業では出ない新しい発想や結論と一緒に創り出します。子どもが関心や意欲を持つきっかけになり、私たちも学生から学んでいます。

SENIOR activity
シニア × いきいきライフ

— 木からモノと人の輪がうまれる —
— 職人技がいきる人生 —
— 木工に魅せられた仲間と —

家具職人歴50年の腕前を活かし、14年前に木工のグループを結成。メンバーは現在6人。実直な性格に、「師匠！ここ教えて！」と自然に人の輪ができる。「何歳になっても、人に頼られるのはうれしい」とはにかむ。



木工ふれあいサロン
古場 秀昌さん

職人を引退して、家にこもりがちになったある日、手作りの木工三輪車を孫に贈ると大喜び！気持ちいが再燃しました。有馬富士共生センターで木工用機械を使える知り、「自分の欲しいもの」を作る教室を始めよう！と結成したのが始まり。「みんなと一緒に楽しみたい」というメンバーの声がうれしい。今ではみんなの質問に答えたり、周りの作業状態を確認するなど、一人作業だった職人時代にはなかった楽しさを感じています。

木工は完成品をイメージし、手と頭脳を駆使するのが魅力。自分のサイズに合わせ作った作品には自然と愛着が湧き、大切に使用しています。いつまでも続けたいので、コツコツ元気に頑張ります。

初心者大歓迎！用意するのはボンドと木材だけ♪

毎週木曜13時から有馬富士共生センターで開催。体験・見学も歓迎♪古場さん(079-565-2485)へ事前に問い合わせを。



KIDS message
さんだっ子スマイル

とっておきの1枚をシェアしよう！



ながしまいぶき
長舗 柊己ちゃん 5歳 / カルチャータウン



きむら そら
木村 壮良ちゃん 1歳 / ウッディタウン



ふくいちなつ あき とうま
福井 千夏・秋桔・冬馬ちゃん
7歳・5カ月・4歳 / フラワータウン

対象：市内在住の未就学児（小学生以上の兄弟・姉妹も同時掲載可）。応募は、右記2次元コードの申し込みフォームから>>>>>>>>

